

未来にむかって●

シリーズ町立図書館のあゆみ・下

これからの図書館を考えると、図書館や本が特別なものではなく、自然にみなさんの生活の一部と感じていただけるような存在であると思つていきます。

館内を見てまわって、面白そうなお本を見つけて借りて読む、というのも一つの楽しみ方ですが、それだけではありません。図書館には「^{とうびょう}闘病記文庫」をはじめとする健康情報、または仕事に役立つ「^{あふ}ビジネス関連資料」など、様々な情報が溢れています。暮らしの中で何か疑問に思われることがあったら、まず図書館に来てみませんか？ 疑問

の解決に必要な本をお調べします。

もし町立図書館に該当の資料がない場合は、県内の他の図書館を探して取り寄せることもできます。みなさんと、みなさんに必要な情報を結ぶ役割が、これからの図書館にとって大変重要なのではないかと考えています。図書館はこれからもますます、利用者のみなさんの暮らしによりそう、すぐそばにあって、何かあったときには図書館できいてみよう、と思われる存在であり続けたいと思っています。

(3回シリーズ 最終回)

利用者カードを紛失された方へ

カードが見あたらなくなった場合、窓口までお申し出ください。仮カードが発行できます。仮カードの有効期限は3ヵ月です。3ヵ月が経過しても利用者カードが見つからない場合、再度お申し出ください。その際は紛失届けにご記入いただき、本カードを再交付いたします。

※窓口でのスムーズな貸出のためカードのご提示にご協力ください。



おめでとう 20 周年！ ～暮らしによりそう図書館へ～

リレーコラム『わたしと図書館』

第3回

心のすき間を埋める本

なかむらけいこ
中村敬子さん（天萬）

私が南部町立図書館を利用するようになったのは、3年前、定年退職後です。毎月出る「新しく入った本のお知らせ」で予約を入れたり、読みたい本をリクエストすれば購入してもらえたり、県立図書館から取り寄せて下さったり、とても嬉しくなります。

最近読んだ中では、山本兼一さんの「^{りきゅう}利休にたずねよ」がいちばん心に残ります。時代小説を読む時、い

つも思つのですが、どうしてこのように見て来たように読む人の心を引き付けるのかと。

私は野球が好きで、プロ野球も大リーグも毎日のようにテレビ観戦をするのですが、応援するチームが敗れた日は、スポーツニュースも観たくないので、本の世界に逃げ込みます。本は嫌な気持ちも忘れさせてくれ、その物語の中に連れて行ってくれます。自分の経験してないこと、知らないことも教えてくれます。本って、すばらしい。

新しい雑誌のぐ案内

※バックナンバーは貸出もできます。どうぞご利用ください。



ku:nel
(マガジンハウス)
隔月刊

食・インテリア・ライフスタイルに
こだわる人の情報誌



Oggi
(小学館)
月刊

「シンプル・知的・ウオリテイ」キャ
リア女性のファッション&情報誌